



体操女子団体総合で35年ぶりの優勝に貢献し、個人総合でも優勝した武庫川大付の二宮さやか(左)いずれも姫路市ウイング体育馆(撮影・中西大二)

27日は各地で9競技が
あった。体操団体総合の
女子は武庫川大付が市尼
崎の7連覇を阻止し、35
年ぶり16度目の頂点に立
つた。男子は市尼崎が5
年連続11度目の栄冠に輝
いた。個人総合の女子は
二宮さやか(武庫川大付)
が2連覇し、男子は1年
生の有政佑真(飾磨)が
優勝した。

(姫路市ウイング体
操女子団体総合は1位か
ら3位までがわずか0・9点
差と近年まれに見る大接戦
に。市尼崎の7連覇を食い止
め、35年ぶりに頂点に立った
武庫川大付は、成長著しい二
宮の存在感が光った。個人総
合でも連覇を達成した2年生
エースは「他校の状況を気に
せず、普段通りの力が出せた
とうなさいた。

団体の最終種目は跳馬。最
後に登場した二宮は、縦に2

女子団体総合

二宮 個人総合も連覇

回転し着地時に体を反転させ
るDスコア(演技価値点)4
・6点の得意技を冷静に決め
ると、はじける笑顔で跳びは
ねながら仲間のもとに駆け寄
った。中学時代は羽衣
堺市出身。中学時代は羽衣
学園で全国大会を経験し、今
年3月の全国選抜大会でも
個人総合9位と躍進した。
現在も毎日約2時間かけて
通学し、今春から指導にあ
たる東監督は「やるべきこ

(長江優咲)

体操

武庫川大付35年ぶり▼

とが分かつていて、面白目に
に努力できる選手」と評価

する。

1961年から約20年間に
わたって県内のトップを走り
続けた古豪も、近年は優勝
争いから遠ざかっていた。
「個人の強みが組み合わさ
つてつかめた優勝」と中野
主将。全国では決勝へ進出
し、武庫川大付の名をどう
かせるつもりだ。

県高校総体

(神戸新聞社後援)

神戸新聞NEXTに成績を速報

電子版「神戸新聞NEXT」の高校総体特設ページでは、一部を除き競技開催当日に成績をアップ。展望記事や関連ニュースも掲載しています。

薙理(高砂)が12秒08(追記)で制し、12歳03の大会新記録も樹立した。同800㍍は、い抜きと合わせて3冠。

大谷拓海(神戸鈴蘭台)が44年ぶりの大会記録更新となり15秒22で2連覇した。同100㍍は高木

恒(宝塚)が10秒78で優

勝し、同1600㍍リレー

1は社が3分13秒07の大

会新記録で24年ぶりに制

覇。女子三段跳びは船田

500㍍との2冠に輝いた。

自転車はトラック種目

があり、4000㍍団体

追い抜きは神崎が大会新

きょうの競技

馬術(9時35分・しあわせ

の村黒重八免)